

た。郡山代表が他社製品を研究したところ、携帯電話用の高性能なCPU（中央演算装置）を組み込んでいたり、ハードの部分にコストを掛け過ぎていたそうだ。そこからはソフトウェア開発で優れた技術力と先進性に定評がある同社の出番だ。

「機器に組み込むチップは決して高額なものでなくともいい。ハードのコストを低く抑えて、クラウドを活用してソフトウェアで高い付加価値を付け、組み合わせて提供すればいいのです。今、日本の半導体産業は瀕死の状態に陥っていますが、それはハードのみを高く売ろうとしたこと。反面、海外の半導体メーカーは、ハードではなく、ソフトウェアにこそ高い価値をつけて売っているのです。そのことに気が付き、半導体の優秀な技術者を採用し、ハードからソフトウェアまで自社でつくことができる体制を整えました」。

ソフトとコンテンツのシナジーを目指す

来たるべき「M2M」時代に向けて、各事業を中心とした「ソフトウェア基盤技術事業」の一方、ガイアホールディングスには、もう一つの事業の柱として、ゲーム開発、アニメーション制作、コ

られる。ご存知の方もいるだろうが、

社名	ガイアホールディングス株式会社
市場	マザーズ
代表者名	郡山龍
決算月	12月
設立年月日	1986年2月22日
上場年月日	2003年12月17日
財務指標(2012年12月期見込み・連結)	
売上高	110億円(前年比4.7%増)
営業利益	5億円(前年比20.2%増)
経常利益	4億1800万円(前年比8.9%増)
純利益	1億1600万円(前年比77.3%減)
1株利益	11円24銭
事業内容	組み込みソフトを中心としたソフトウェア基盤技術事業、携帯端末向けゲームのGモード、アニメ制作のアニメインターナショナルカンパニー、7月にグループ入りしたコミック出版のフレックスコミュニケーションズを中心とした総合エンターテインメント事業を両輪に事業展開。
問い合わせ先	所在地: 東京都新宿区西早稲田2-18-18 TEL: 03-5286-8436 URL: http://www.gaia-hd.com/



グループ会社のGモードとAICが共同制作した「片翼のクロノスギア」。4月創刊の「COMIC メテオ」では本作品や「ブレイク ブレイド」等を好評連載中。



組み込みソフトに定評があるアプリックスを中心としたソフトウェア基盤技術事業、携帯端末向けゲームのGモード、アニメ制作のアニメインターナショナルカンパニー、7月にグループ入りしたコミック出版のフレックスコミュニケーションズを中心とした総合エンターテインメント事業を両輪に事業展開。

「クール・ジャパン」の言葉とともに、世界で注目されるアニメ、コミックによって、社会を豊かにすることが当社の使命。だから、テクノロジーの根っこにある半導体やソフトウェアと、テクノロジーがお客様に接する機会で、もあるコンテンツの両輪で事業を展開していくこうということです。分かりやすく例で言えば、アップルとピクサーの関係でしょうか。スティーブ・ジョブズが技術を、アップルではハードに、ピクサーではソフトに活かすことで両社ともに発展した。この関係を目指しています」。

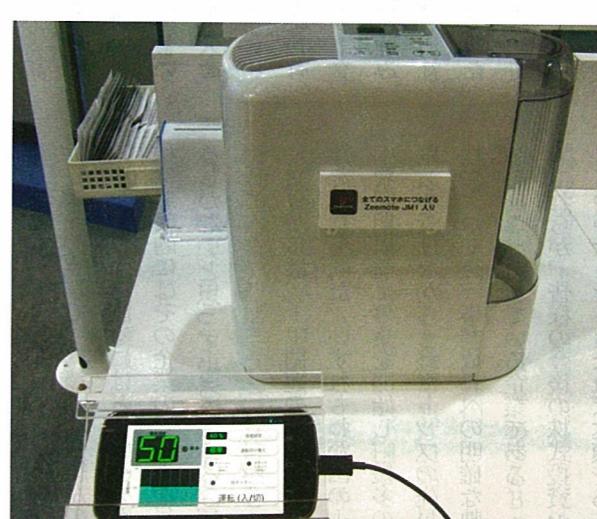
「一言で言えば、ソフトウェアの技術によって、社会を豊かにすることが

できる」という掛け声は聞かれていたし、実際に商品化もされていた。それが思

った通りに普及しなかったのは、埋め込んでいるチップの価格に問題があっ



様々な機器をスマホなどとつなぐアプリックスのM2M商品「Zeemote JM1」。加湿器に組み込めば、「水切れ通知」などの新機能追加も実現する。



ガイアホールディングス(3727)

すべてのモノがつながる M2M時代のトップランナー



「ソフトウェアの力で世の中のあらゆる人を幸せにしたい」と語るガイアホールディングス・郡山龍代表。

組み込みソフトで知られるアプリックスに、コンテンツ有力企業が加わり始動したガイアホールディングス。その将来戦略を検証する。

組み込みソフト技術で時代をリード

「M2M」という技術をご存知ですか。マシン-to-マシン、要はコンピュータ・ネットワークに結び付いた機器同士が情報をやり取りし、最適な制御を行うシステムで、数年前からIT業界で注目を集めている技術のことだ。携帯電話やAV機器は言うに及ばず、おもちゃや体重計、加湿器や時計、はてはドアノブに至るまで、ICチップを埋め込み、ネットワークシステムを通してクラウド上のサーバーにより管理を行えば、従来では考えられなかつたような様々なことが可能になる。例えば、市販の加湿器にチップを埋め込むことによって、スマホなどの携帯機器からコントロールすることが可能になるとともに、従来の機能だけではなく、湿度の推移を携帯端末上に表示

したり、他の健康器具と運動

させれば、体調に応じた加湿さえ可能になる。こんな「M2M」技術で世界をリードしているのが、ガイアホールディングスグループの中核企業、アリックスだ。設立は1986年。早稲田大学在学中の郡山龍氏（現・ガイアホールディングス代表）が、自分の力でソフトウェア開発をしたといふ創業。その後、郡山氏自身はアメリカのマイクロソフトに入社し、ビル・ゲイツ氏のもと、アジア市場向けの製品開発責任者を任されるが、後にアリックスを再始動。携帯電話の普及とともに、組み込みソフトウェア開発によって急成長した。

「世界中の全てのモノがネットワークに繋がる時代が必要になります」と郡山代表は力を込める。その根拠には、技術開発者らは圧倒的に先行しているという自負があります」と郡山代表は力を込める。その根拠には、技術開発者らしい郡山代表と同社の研究姿勢がある。これまで「全てのモノをネットワー

た。郡山代表が他社製品を研究したところ、携帯電話用の高性能なCPU（中央演算装置）を組み込んでいたり、ハードの部分にコストを掛け過ぎていた

この事業は、モバイル端末向けのゲーム開発で数々の実績があるGモード、テレビアニメやオリジナルビデオで知られるアニメインターナショナルカンパニー、そしてこの7月にグループ入りしたばかりのコミック出版社、フレックスコミュニケーションズなどの企業群により構成されている。ソフトウェアとコンテンツ。この似て非なる分野を事業の柱として捉えていることは何を意味するのか。郡山代表はこう説明する。

「一言で言えば、ソフトウェアの技術によって、社会を豊かにすることが当社の使命。だから、テクノロジーの根っこにある半導体やソフトウェアと、テクノロジーがお客様に接する機会で、あるいはコンテンツの両輪で事業を展開していくこうということです。分かりやすく例で言えば、アップルとピクサーの関係でしょうか。スティーブ・ジョブズが技術を、アップルではハードに、ピクサーではソフトに活かすことで両社ともに発展した。この関係を目指しています」。

アニメを始めたコンテンツの制作は膨大な時間と労力がかかる「非合理的な世界」。だが、ここでも研究熱心な同グループの成果が表れている。

「日本のアニメが世界で評価されているのは、そのアート的な要素が人々を惹きつけているから。ただ眼に映つたものではなく、心に映つたものを描いている。この部分は決してコンピュータに置き換えることはできません。でも、実は制作工程の大半を占める前後の作業はソフトウェア技術でいらっしゃった」。

「クール・ジャパン」の言葉とともに、世界で注目されるアニメ、コミックによって、社会を豊かにすることが当社の使命。だから、テクノロジーの根っこにある半導体やソフトウェアと、テクノロジーがお客様に接する機会で、あるいはコンテンツの両輪で事業を展開していくこうということです。分かりやすく例で言えば、アップルとピクサーの関係でしょうか。スティーブ・ジョブズが技術を、アップルではハードに、ピクサーではソフトに活かすことで両社ともに発展した。この関係を目指しています」。

組み込みソフトに定評があるアプリックスを中心としたソフトウェア基盤技術事業、携帯端末向けゲームのGモード、アニメ制作のアニメインターナショナルカンパニー、7月にグループ入りしたコミック出版のフレックスコミュニケーションズを中心とした総合エンターテインメント事業を両輪に事業展開。

クに」という掛け声は聞かれていたし、実際に商品化もされていた。それが思つた通りに普及しなかったのは、埋め込んでいるチップの価格に問題があっ